

忘れられた無差別爆撃

The Forgotten Indiscriminate Bombing

2024年
11月新刊!!

検証・錦州爆撃

額額厚 KOKETSU Atsushi

現代にまで至る都市空爆の原点！
重慶、広島そしてガザ空爆

世界初の無差別爆撃、錦州爆撃を中心に扱う初の単行本、ついに刊行!!
関東軍によって強行された世界初の都市無差別爆撃は、その後の日本と世界にどのような影響を与えたのか？

本書のねらい

- ゲルニカ空爆より6年も早く実行された都市無差別爆撃でありながら、これまでほとんど着目されてこなかった錦州爆撃に光を当てる。
- 日本国内はもちろん、中国ほか各国の史料を用いてその反応を可能な限り分析し、錦州爆撃を与えた影響の大きさを多角的に検討する。
- 当時、検討されていた空戦法規・空爆規制に対して与えた影響についても詳述し、世界史的な側面からも位置づける。

錦州爆撃とは？

満州事変勃発から3週間後の1931年10月8日、関東軍航空隊が張学良の本拠地・錦州に侵入、75発の爆弾を投下。死者23名をはじめ、民間人に多大な被害を与えた。

忘れられた
無差別爆撃

検証・錦州爆撃

額額厚

世界初の都市空爆!

「錦州爆撃」、それは重慶、ヒロシマ、そしてガザ空爆を招来した
はじめての「無差別爆撃」だった――。

不二出版 定価3,300円(本体3,000円+税10%)

定価3,300円(本体3,000円+税10%)

ISBN 978-4-8350-8831-0 C0021 ¥3000E

四六判/上製/304ページ

本書の構成

はじめに——日本軍初の都市無差別爆撃

第一章 錦州爆撃への道程

- 1 事変に突き進む――
- 2 満蒙問題の解決を急ぐ
- 3 独走か、並走か

第二章 錦州無差別爆撃

- 1 空爆への道
- 2 出撃の経緯

第三章 爆撃の衝撃

- 1 日本国内への情報伝達
- 2 拡がる衝撃
- 3 無差別爆撃に先鞭をつける

第四章 深まる日中対立

- 1 動揺する日本政府
- 2 反発強める中国
- 3 強まる対日圧力と国際連盟

第五章 都市無差別爆撃への着目

- 1 空爆規制問題
- 2 無差別爆撃正当化の論理

終章 引き継がれる錦州無差別爆撃史

忘れられた無差別爆撃

— 検証・錦州爆撃 —

推薦します

はじまりの都市爆撃

前田 哲男 ジャーナリスト・軍事評論家

一九〇三年、ライト兄弟が動力機飛行に成功して以降、戦争様相は一変した。いっそう苛烈さを増し、前線・銃後を問わず人類の頭上にかかる存在となる。同様に「空中爆撃」という手法が、現代戦の中心部分を占めるにいたる。それは二〇世紀のふたつの世界大戦における「都市無差別爆撃」、また二一世紀の「世界終末戦争」が想定する核抑止戦略の一翼を、「核搭載爆撃機」が占める現実によってもあきらかだ。目下進行中の「ロシア・ウクライナ戦争」、またイスラエルによる「ガザ・レバノンの都市破壊」に、その発展形がしめされる。「AI戦争・無人機攻撃・暗殺作戦」を見ればいい。二〇世紀初頭（本書の記述でもある）とくらべ、目のくらむ思いがする。最新の例をあげると、ヒズボラの指導者ナスララ師「暗殺作戦」後、イスラエルのネタニヤフ首相が言い放った「ナスララが生きている限り、われわれが破壊した組織の機能はすぐに再建される。（殺害は）戦争の目標を達成する必須条件だった」という言葉に象徴的に表われている。精密誘導技術は、個人抹殺・暗殺作戦が可能なほどにまで進化してしまった。

では「はじまりの都市爆撃」とはどんなものであったのか？ 本書の主題は、一九三〇年代の「最初の空中爆撃」を記述したものだ。私たちは、最先端の手法を目撃しているが、著者が描く「錦州爆撃」は、その「原初のかたち」にあたる。空からの都市破壊という戦法が、各国軍隊にとりいられる以前のかたち、とはいえ「住民を恐怖させる」という同一思想のもと、（兵器に大差はあっても）それを日本軍が実行していた、というのが本書の主題である。

「満州事変」は知っていても、史上最初の都市爆撃「錦州爆撃」が日本軍によりなされたことについては知らないというのが、日本人にとって常識だろう。本書はその常識を根本から覆してくれる。すぐあとにつづく「重慶爆撃」について調べている私にとって「わが意を得たり」というべき書物でもある。ここで「学ばれた教訓」が、一九三八年末から開始される、抗戦首都「重慶爆撃」に引き継がれていくのであるから……。

（まえだてつお）

著者略歴

瀨 厚（こうけつ あつし）

一九五一年生まれ。

現在、明治大学国際武器移転史研究所客員研究員・山口大学名誉教授。政治学博士。

『近代日本政軍関係の研究』（岩波書店、二〇〇五年）、『日本海軍の終戦工作』（中央新書、一九九六年）、

『侵略戦争』（ちくま新書、一九九九年）、『日本降伏』（日本評論社、二〇一三年）、『戦争と弾圧』（新日本出版社、

二〇二〇年）、『総力戦体制研究』（三一書房、一九八一年）、『監視社会の未来』（小学館、二〇〇七年）など

著書多数。

不二出版

〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10

TEL: 03 (5981) 6704

FAX: 03 (5981) 6705

注文カード	帖合・貴店名	注文数	不二出版	瀨 厚 著	お客様名
			忘れられた無差別爆撃 — 検証・錦州爆撃		お電話番号
			定価 ● 3,300円 (本体 3,000円+税 10%)		
		冊	ISBN 978-4-8350-8831-0 C0021 ¥3000E		ご注文 年 月 日